

住みたい、 住み続けたいまちづくり



国登録文化財で近代化産業遺産のマクセル赤レンガ記念館

1. この町で生きることを応援する移住定住サポート

(1) 創業および事業拡大の支援

近年、グローバル化の進展や事業や商圏規模の縮小等、企業や事業者を取り巻く環境は厳しさを増しています。とりわけ、産業の停滞や雇用低迷、失業の増加が懸念されています。福智町では、積極的な企業誘致や創業支援者への相談対応などに取り組んできましたが、今後さらなる町活性化を図るため、創業および事業拡大の支援を強化し、地域産業の振興を図ります。

※Uターン▶ 大都市圏の居住者が出身地に戻って移住すること。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 「企業誘致奨励金制度」を活用した積極的な誘致活動【まちづくり】
- ② 町内の空き公共施設等の有効活用【まちづくり】
- ③ 創業希望者に対する相談窓口の開設や創業セミナー、経営アドバイス等の実施【まちづくり】

2 現在の問題点

- ① 中小企業向けの支援制度の拡充【まちづくり】
- ② 空き家や空き店舗の活用方策の確立【まちづくり】
- ③ ベンチャー企業の誘致不足【まちづくり】
- ④ Uターン*者向けの雇用対策不足【まちづくり】
- ⑤ 商店街の活性化【まちづくり】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 企業誘致奨励金制度を活用した積極的な誘致活動【まちづくり】
- ② 創業希望者に対する相談窓口の開設やセミナーの開催【まちづくり】
- ③ 商工会への活動助成の継続【まちづくり】



金田新町通り商店街のI LOVE フクチフェスタ

1. この町で生きることを応援する移住定住サポート

(2) しごと相談窓口の推進

ゆとりと生きがいを持って豊かな生活を営むためには、雇用の安定が不可欠です。福智町では、役場内に「しごと相談窓口」を設けていますが、その効果的な活用周知が課題となっています。今後もハローワークや町内企業・事業所との連携強化を図り、安定した雇用確保の推進を図ります。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① ハローワークと同等の求人情報を閲覧できる環境整備と利便性の向上【総務】
- ② 常勤専門スタッフによる仕事に関する相談対応、履歴書、職務経歴書作成のサポート【総務】
- ③ 雇用保険受給中や保育園入園時の求職活動の証明の実施【総務】
- ④ 児童扶養手当の求職活動支援機関等利用証明書の発行【総務】
- ⑤ ハローワーク職員による週1回の職業相談・職業紹介の実施【総務】
- ⑥ ハローワークと連携した職業訓練による資格取得やセミナー受講のサポート【総務】
- ⑦ ハローワークとの共催で高校生を対象とした「就活列車」を運行【総務】

2 現在の問題点

- ① しごと相談窓口の認知度の向上とさらなる利用者の増加【総務】
- ② ハローワーク職員の出張職業相談・職業紹介における実施回数の維持【総務】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① しごと相談窓口の推進およびPR【総務】
- ② ハローワークとの連携強化【総務】
- ③ 町内企業・事業所との連携強化【総務】



福智町しごと相談窓口

(3) 空き家バンクの推進

全国的な人口減少に伴い、適正な管理がされていない状態の空き家が目立つようになってきています。福智町では、空き家基本計画の策定をはじめ、空き家の調査等を進めてきました。今後も空き家バンクの利用率向上をはじめ、空き家や空き店舗を利活用した事業の推進など、定住促進と活性化につながる移住者の増加を目指します。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 空き家調査による実態把握と情報収集【総務】【まちづくり】
- ② 空き家基本計画の作成【総務】【まちづくり】
- ③ 空き家対策協議会の設置【総務】【まちづくり】
- ④ 空き家解体事業助成金の導入【総務】【まちづくり】
- ⑤ 空き家バンク制度の構築【まちづくり】

2 現在の問題点

- ① 庁内連携の強化による空き家対策の実効力拡大対策【まちづくり】
- ② 空き家所有者のモラルや危機意識の啓発および対策の周知不足【まちづくり】
- ③ 空き家バンク登録物件数の低迷と協力業者の拡大方策【まちづくり】
- ④ 空き家バンクの認知度不足および利便性の向上対策【まちづくり】
- ⑤ 賃貸物件ニーズの増加に応える登録物件数の確保【まちづくり】
- ⑥ 空き家のリフォーム&リノベーションによる活用施策の立案【まちづくり】
- ⑦ 売却困難な空き家（土地を含む）に対する対応【まちづくり】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 空き家の未然防止対策の検討【まちづくり】
- ② 空き家バンクの利用率向上【まちづくり】
- ③ 空き家や空き店舗を利活用した事業の検討【まちづくり】
- ④ 不動産取引事業者の育成【まちづくり】



移住定住促進ポータルサイト「ふくち暮らし」

1. この町で生きることを応援する移住定住サポート

(4) 定住支援助成事業の推進

町の人口減少に歯止めをかけるためには、移住者の確保だけでなく、定住の促進が重要となっています。福智町では、定住促進のため、住居にかかる奨励金支援事業をすすめてきました。今後も、各支援制度の周知徹底に努め、定住者の増加を目指します。

※ PPP▶ 公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、民間資本や民間のノウハウを活用し、効率化や公共サービスの向上を目指すもの。

※ PFI▶ 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法のこと。PFIはPPPの代表的な手法のひとつ。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 福智町定住促進助成事業（住宅新築・中古住宅購入奨励金）の実施【住宅】
- ② 住宅リフォーム助成制度の実施【住宅】
- ③ 移住定住促進ポータルサイト「ふくち暮らし」の開設運用と情報提供【まちづくり】
- ④ 定住関連行政サービスパンフレットの作成および配布【まちづくり】
- ⑤ 田川広域自立圏の連携による定住促進への参画【まちづくり】

2 現在の問題点

- ① 定住促進助成事業の平成31年度までの時限要綱に基づくさらなる継続の検討【住宅】
- ② 各種定住支援助成事業の認知度不足【住宅】
- ③ 助成対象者や条件等の設定の改善や見直しの検討【まちづくり】
- ④ 給付型奨学金制度の広報および周知の徹底【学校教育】
- ⑤ 移住定住促進ポータルサイト「ふくち暮らし」の掲載情報と周知不足【まちづくり】
- ⑥ 賃貸取引を行う民間参入業者と賃貸物件の不足【まちづくり】
- ⑦ PPP*・PFI* 事業の導入【まちづくり】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 福智町定住促進助成事業（住宅新築・中古住宅購入奨励金）の実施【住宅】
- ② 住宅リフォーム助成の実施【住宅】
- ③ 移住・定住支援制度の見直しおよび拡充【まちづくり】
- ④ 給付型奨学金の実施【学校教育】
- ⑤ ポータルサイト「ふくち暮らし」の利用率向上【まちづくり】
- ⑥ 民間資本による住宅基盤の整備促進【まちづくり】
- ⑦ 移住者の把握と受け入れ体制の強化【まちづくり】

(5) 適正管理における良質な住宅供給の推進

誰もが安心して快適に住み続けられるためには、良好な住環境が必要です。福智町では、住宅長寿命化計画をもとに、町営住宅の有効活用と計画的な改修や補修等を実施してきました。今後も高齢者、障がい者、子育て世帯などが入居しやすい町営住宅の整備に取り組みます。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 福智町町営住宅長寿命化計画の策定および推進【住宅】

2 現在の問題点

- ① 入居者の仮住居移動における地元との調整【住宅】
- ② 高額滞納者の処理【住宅】
- ③ リフォームやバリアフリー化等の高齢者需要への対応【住宅】
- ④ 町営住宅の老朽化に伴う子育て世帯や高齢者の受け入れ環境の整備【住宅】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 福智町町営住宅長寿命化計画（後期）の推進【住宅】



福智町内の公営住宅

2. 安心して子どもを産み育てられる子育て支援

(1) 子育て環境や制度などの支援の充実

次 代を担う子どもたちが心身ともに健やかにたくましく育つためには、地域社会全体で子どもたちを育てる環境づくりが重要です。福智町ではこれまで、きめ細やかな子育て家庭への支援を行ってきました。今後も安心して出産・子育てができる環境づくりの充実を目指します。

※ 子育て世代包括支援センター ▶ 妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点。

※ ファミリーサポートセンター ▶ 「育児のお手伝いをしたい方」と「育児のお手伝いをしてほしい方」が地域の中で助け合いながら子育てをする会員組織の有償ボランティア活動。自治体が設置し、委託を受けた法人が運営。

※ ブックスタート ▶ 0歳児健診などの機会に、絵本を開く楽しい体験とともに、赤ちゃんに絵本を手渡す活動。赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれあうひとときを持つきっかけを届ける。

※ ファミリーサポーター ▶ ファミリーサポートセンターでの育児のお手伝いをいただくサポーターのこと。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 福智町子ども・子育て支援事業計画の策定および推進【福祉】
- ② 子育て世代包括支援センター*の設置【保健】
- ③ 子ども医療費支給制度で医療費(自己負担額)全額助成対象を中学3年まで拡大【住民】
- ④ ひとり親家庭等医療費支給制度でひとり親家庭等の医療費を助成【住民】
- ⑤ 産後ケア事業の導入および妊婦・乳児の全戸家庭訪問事業の継続【保健】
- ⑥ 放課後学童保育事業の拡充(全学年対象、学童クラブ室新築)【福祉】
- ⑦ 学童保育連絡協議会の組織化運営と質の向上【福祉】
- ⑧ 保育所等連携による5歳児健診や巡回相談の導入【保健】
- ⑨ 乳幼児期の健診と療育相談、就学支援の充実【保健】
- ⑩ ファミリーサポートセンター*の運営【福祉】
- ⑪ ブックスタート*の事業継続実施【生涯学習】
- ⑫ 子育て支援教室(こぐま教室)の開催【生涯学習】
- ⑬ 未熟児養育医療の県からの移譲に伴う未熟児家庭等への相談・指導の実施【保健】

2 現在の問題点

- ① 各関係機関と連携し、総合的な相談や切れ目のない支援を行い、町全体で子育てを応援する体制の強化【保健】【福祉】【学校教育】【生涯学習】
- ② 学童保育事業者間の交流と従事者(支援員等)の育成支援【福祉】
- ③ ファミリーサポーター*の募集と制度啓発、研修の充実【福祉】
- ④ 民間保育所への町単独助成のあり方の検討【福祉】
- ⑤ 医療費助成のための財源の確保【住民】
- ⑥ 子育て支援教室の講師および会場の確保【生涯学習】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 第2期福智町子ども・子育て支援事業計画の策定および推進【福祉】
- ② 放課後学童保育事業の拡充(学童クラブ室建設、連絡協議会による保育内容向上等)【福祉】
- ③ 第3子以降保育料全額助成の実施【福祉】
- ④ 子ども・ひとり親家庭等医療費助成の継続【住民】
- ⑤ 子育て世代包括支援センター*の活用推進(妊娠・出産・子育て期までの相談支援)【保健】
- ⑥ 保育士確保の支援【福祉】
- ⑦ 民間保育所助成事業の見直しの実施【福祉】
- ⑧ ファミリーサポートセンターの運営【福祉】
- ⑨ ブックスタート事業の継続開催【生涯学習】
- ⑩ 子育て支援教室(こぐま教室)の継続開催【生涯学習】

(2) 要保護等児童への支援の充実

子 どもの貧困や虐待を受けている児童は年々増加傾向にあり、その早期発見と早期対応が求められています。福智町では、要保護児童対策地域協議会において、その対応協議を行っています。今後もより一層の相談体制や関係機関との連携体制の強化に向けて取り組みます。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 要保護児童対策地域協議会での要保護・要支援児童への支援対策【福祉】
- ② 要保護対策実務者向け講演会、研修会等の実施【福祉】
- ③ 子どもの貧困対策への支援(関係機関との連携)【福祉】

2 現在の問題点

- ① 要保護児童対策地域協議会の組織の再構築【福祉】
- ② 要保護・支援児童および世帯の情報一元管理【福祉】
- ③ 要保護等児童に対する支援の各機関の連携と具体的支援の継続【福祉】
- ④ 子どもの貧困対策の具体的支援の検討【福祉】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 要保護児童対策地域協議会の活性化の推進【福祉】
- ② 要保護等児童の情報一元管理の継続【福祉】
- ③ 子どもの貧困対策の推進【福祉】
- ④ 乳児家庭全戸訪問事業の推進【保健】



(1) 快適なまちづくりと美しい地域づくりの推進

自 然環境は良好な景観の形成だけでなく、生産活動や防災、生物多様性の確保など、さまざまな役割を持っています。この貴重な自然を後世まで残し続けていくためには、啓発活動から環境保全活動へとつなげていくことが重要です。公共の福祉を優先させ、自然環境の保全を図りつつ、長期にわたって均衡と調和のとれた国土利用を確保することが求められます。福智町では、継続的な国土調査や町有地の活用・売却、環境美化活動や花いっぱい運動等に取り組んできました。今後も地域や学校等での環境美化の活動を積極的に推進し、町内全域の環境意識の向上に努めていきます。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 年2回の全町域における環境美化運動の実施【住民】【生涯学習】
- ② 各地区のボランティア清掃に対応したボランティアごみ袋の配布【住民】
- ③ ペットのフン処理啓発看板の設置【住民】
- ④ 遊休地売却の推進【財政】
- ⑤ 国土調査事業の推進(上野地区)【財政】
- ⑥ 春季と秋季の花いっぱい運動の推進【まちづくり】

2 現在の問題点

- ① 防止啓発や看板設置に反し、ペットのフン放置が増加傾向【住民】
- ② 環境美化活動に対する若年層参加の減少および参加者の高齢化【住民】
- ③ 地質調査等の実施に伴う契約までの調査経費と調査期間の確保【財政】
- ④ 国土調査の未調査地域の調査に対する人的体制と予算面の確保【財政】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 年2回の全町域における環境美化運動の実施【住民】【生涯学習】
- ② 各地区のボランティア清掃に対応したボランティアごみ袋の配布【住民】
- ③ 不法投棄等防止対策の強化【住民】
- ④ 伊方職員区第二分譲住宅地の造成および売却の推進【財政】
- ⑤ 旧平原団地跡地売却の推進【財政】
- ⑥ 神崎星ヶ丘分譲住宅団地売却の推進【財政】
- ⑦ 国土調査事業の推進(旧赤池、旧金田町域)【財政】
- ⑧ 金田小・中学校跡地(普通財産)の有効活用【財政】
- ⑨ 春季と秋季の花いっぱい運動の推進【まちづくり】

(2) ごみ処理の効率化と循環型社会の推進

地 球環境の保全には、一人ひとりの身近な行動が重要です。ごみの分別や再生可能エネルギーの利用など、資源循環型社会構築のための啓発が求められています。福智町ではごみ処理の広域化を推進していますが、定期的な整備や改修による施設の長寿命化を図る必要があり、生活排水処理も同様の取り組みが必要です。今後も快適な住民生活のため、ごみや生活排水を適正に処理すると共に、ごみの分別と減量化に努めます。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 下田川清掃施設組合の運営推進【住民】
- ② 広域的ゴミ処理・し尿処理施設建設の推進【住民】
- ③ 補助制度を活用した合併浄化槽への転換に向けた推進【住民】
- ④ コミュニティープラント(汚水処理施設)設置の推進【住民】

2 現在の問題点

- ① 適切なごみの分別やごみの出し方の周知徹底【住民】
- ② ごみ処理施設・し尿処理施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加【住民】
- ③ ごみ減量化に向けた意識の醸成と啓発の周知【住民】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 下田川清掃施設組合の運営推進【住民】
- ② 田川郡東部環境衛生施設組合の運営支援【住民】
- ③ 補助制度拡充による合併浄化槽への転換推進【住民】
- ④ コミュニティープラント(汚水処理施設)設置の推進【住民】



福智川のホタルの乱舞

(3) 安全で安心な水の安定供給

本町の水道事業は、平成の合併に伴い平成18年3月に創設し、現在の施設能力は、田川地区水道企業団からの受水(3,900m³/日)分とあわせ、1日最大11,560m³となっています。

現在、本町の水道の水源の大半は、表流水と地下水に依存していますが、表流水は近年の少雨化傾向による渇水や生活排水などによる水質汚濁の恐れがあり、地下水は取水による渇水化や地盤沈下の恐れがあることから、平成30年4月より、水質の良い伊良原ダム(京都郡みやこ町)を水源とした浄水を田川地区水道企業団から受水(7,500m³/日)し、町内へ供給しています。いつでも安心安全な水を安定供給するためには、安定した水源の確保はもとより、水道施設の整備を図り、災害時にも安定した給水ができる体制を整えることが重要です。本町では、中長期的な視野に立った計画に基づき、施設や管路について更新を図り、水の安定的な供給を推進しています。今後も水道施設等の適正な維持管理を図り、安全かつ質の高い水の安定供給に努めます。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 浄水場・配水池・導水、送水、配水管等の水道施設の維持管理と運営【水道】
- ② 水道料金の徴収率の向上【水道】

2 現在の問題点

- ① 人口減少や節水機器の普及等により、近年の給水需要は年々減少傾向【水道】
- ② 給水需要の減少に伴う、水道料金収入の減少【水道】
- ③ 水道施設や水道本管の経年劣化に伴う更新需要の増大等による経営状況悪化の懸念【水道】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 効率的な施設の維持管理・改修などの施設整備の推進【水道】
- ② 田川地区水道企業団から浄水の受水量の増加にあわせた浄水場・配水池等の設備投資や統廃合【水道】
- ③ 水道料金のさらなる徴収率向上【水道】
- ④ 水道の安全性、安定供給を確保していくための田川地域の他市町村との広域事業統合【水道】

(4) 環境負荷低減の推進

人々の生活様式の変化が進むなか、近年の環境問題は多様化、複雑化し、地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模にまで広がりをみせています。福智町では、公共施設等への太陽光発電やLEDの導入等に取り組む、行政自らが率先して行ってきました。今後も町行政自らが事業者であり消費者であるという立場から、環境負荷低減に率先して取り組むとともに、住民や地域、事業者の取り組みを先導し、環境に関する情報提供や環境負荷の少ない活動を支援します。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 資源物集団回収事業奨励金制度の導入【住民】
- ② 公共施設、遊休地等を利用した太陽光発電事業の推進【財政】
- ③ 県内初となる水面利用太陽光発電「水上フロートソーラー」の実現【財政】
- ④ 環境出前講座の実施【住民】
- ⑤ 公共施設照明LED化の実施【財政】

2 現在の問題点

- ① 資源物集団回収事業奨励金制度の周知および登録団体の拡大【住民】
- ② 遊休地の分譲住宅団地造成等の費用対効果の検証【財政】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 資源物集団回収事業奨励金制度の推進【住民】
- ② 公共施設および遊休地等を利用した太陽光発電事業の推進【財政】

中ノ池と福智山



3. 快適な生活環境づくり

FUKUCHI MASTER PLAN

(5) 道路交通網の整備促進

経済の発展や生活の利便性の向上につながる道路整備は、まちの発展に不可欠な事業です。あわせて、自家用車を利用できない住民のみなさんにとって、公共交通機関は日常生活に欠かせません。福智町では、道路や橋梁の補修、補強、福祉バスの運行や公共交通関係機関との連携を推進してきました。今後も道路整備事業を計画的に実施し、公共交通関係機関等への働きかけを行いながら住民生活の利便性と安全性の向上を図ります。

※ オンデマンドサービスの提供を利用者の要求に応じた形で行うこと。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 道路改良および舗装補修工事の実施【建設】
- ② 町内全橋梁143橋の点検および補修計画の策定【建設】
- ③ 福祉バスの運行充実および利用者の促進【福祉】
- ④ 平成筑豊鉄道との連携および西鉄バス等の路線支援【まちづくり】

2 現在の問題点

- ① 道路維持管理に係る財源の確保【建設】
- ② 橋梁の経年劣化に伴う点検および補修に係る財源の確保【建設】
- ③ 福祉バスのルートの改善【福祉】
- ④ 近年の自然災害多発に伴う平成筑豊鉄道への沿線市町村補助額の増加【まちづくり】
- ⑤ 買い物バス・オンデマンド*バス等利用者ニーズへの対応検討【福祉】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 道路改良および舗装補修工事の継続実施【建設】
- ② 橋梁の補修および補強対策【建設】
- ③ 買い物難民対策の推進【福祉】
- ④ 福祉バス運行事業の継続推進【福祉】
- ⑤ 地域活性化および経営改善に向けたさらなる平成筑豊鉄道との連携強化【まちづくり】
- ⑥ 平成筑豊鉄道や西鉄バス等への助成支援【まちづくり】



地域のマイレール、平成筑豊鉄道